

科目名 (科目番号)	運動学 (061141)	教員名 鈴木康文	学科等	理学療法	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割参照		単位数	2
			オフィスアワー		火5	A305研究室(鈴木)	
授業概要	運動学は身体の運動メカニズムを理解する上で必要な学問であり、理学療法の基礎学問として極めて重要である。骨・筋・関節の構造と機能を知り、上肢・下肢・体幹・顔面の運動学、姿勢と歩行を理解する。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標				
	1	オリエンテーション 運動学概論	到達目標:身体運動学と諸科学(解剖学・生理学・物理学)との関係を理解する。 学習内容:身体運動学研究の寄与するもの、運動学的知識の必要性について。				
	2	生体力学	到達目標:身体の位置変化の特徴と身体に働く力の作用を理解する。 学習内容:身体運動(運動学的・動力学的)の基礎知識について。				
	3	運動器の構造と機能	到達目標:骨・骨格筋・関節・腱および靭帯の構造と機能を理解する。 学習内容:関節運動の種類、筋の基本構造と機能について				
	4	下肢帯と股関節の運動	到達目標:下肢帯と股関節の構造、運動、運動に関与する筋について理解する。 学習内容:下肢帯と股関節の構造、関節運動、股関節の運動に関与する筋について。				
	5	膝関節の運動	到達目標:膝関節の構造、運動、運動に関与する筋について理解する。 学習内容:膝関節の構造、関節運動、膝関節の運動に関与する筋について。				
	6	足関節と足の運動	到達目標:足関節と足の構造、運動、運動に関与する筋について理解する。 学習内容:足関節の構造、関節運動、足関節の運動に関与する筋について。				
	7	上肢帯と肩関節の運動	到達目標:上肢帯と肩関節の構造、運動、運動に関与する筋について理解する。 学習内容:上肢帯と肩関節の構造、関節運動、肩関節の運動に関与する筋について。				
	8	肘関節と前腕の運動	到達目標:肘関節と前腕の構造、運動、運動に関与する筋について理解する。 学習内容:肘関節の構造、関節運動、肘関節の運動に関与する筋について。				
	9	手関節と手の運動	到達目標:手関節と手の構造、運動、運動に関与する筋について理解する。 学習内容:手関節と手の構造、関節運動、手関節と手の運動に関与する筋について。				
	10	体幹の運動	到達目標:頸椎・胸椎の構造と運動、運動に関与する筋、呼吸時の筋の働きを理解する。 学習内容:脊柱の構造、関節運動、脊柱の運動に関与する筋、呼吸運動について。				
	11	体幹の運動 顔面及び頭部の運動	到達目標:腰椎の構造と運動、運動に関与する筋、咀嚼筋・表情筋の作用を理解する。 学習内容:腰椎の運動と運動に関与する筋、頭部の構造と頭筋(咀嚼筋・表情筋)に				
	12	姿勢 歩行	到達目標:重心と支持基底面、姿勢の安定に及ぼす要因、歩行周期を理解する。 学習内容:姿勢と姿勢制御、正常歩行の基本的特性について。				
	13	歩行	到達目標:歩行時の角度変化・筋活動・身体重心移動・エネルギー代謝について理解する。 学習内容:正常歩行の基本的特性について。				
	14	歩行	到達目標:小児や高齢者に見られる歩行パターン、異常歩行の要因について理解する。 学習内容:小児や高齢者の歩行の特徴、異常歩行について。				
15	運動・動作の分析	到達目標:動作時の運動学的分析の方法を理解する。 学習内容:基本動作時の運動学的分析を行う。					
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)により成績評価を行う。						
教科書	エッセンシャル・キネシオロジー機能的運動学の基礎と臨床ー第2版ー		弓岡光徳・溝田勝彦・村田伸		南江堂		
参考図書	運動学要点整理ノート		福井勉・山崎敦		羊土社		
教員からのメッセージ	単なる暗記では、専門科目と関連づけて理解することが困難です。身体運動のメカニズムを理解するようにしてください。						